

知的生産の技術1 20011001

楽しく授業してください。
前期の情報表現論みたく
いろいろ書かせて欲しい

こんな自分を変えたい

高校卒業時には、未来史(願望史)を書きました。
色々遠回りしてはいるけど今のところ
その通りの人生歩んでます。瞑想は何も考えず
自分の中にある光一点だけを見るものだと
思っていました。でもその光は「こう考えて
みて下さい」と言われるとその事に関するもの
だけがみえてきたんです。なんか面白かったです。
大学入ってまだ半年くらいしか経っていないのですが
たった半年でも色々なものを得ることができたと思
っています。これからも瞑想の時間用意して下さい

自分史をか(時間が欲しくて
この講義を選びました。
自分のしたいことが
授業中にできてしまうなんて
私は、とてもついています。
私は自分史をかくことによって
過去・現在・未来のつながりを
強め、誰にも譲れない
基本信念のようなものを
確立したいと思っています

色々な人の
自分史を
読んでみたい

最近、企画・広報活動に
触れる機会がありこのまま
看護婦としてだけの
将来を迎えることに
疑問を持っている

自分史...小学生の頃に
遊びで書いたが、それとは
全く違ったものが書けそうだ。
自分の性格を分析して、その
性格と同じ人と意見を交わす
ということは、とても面白いと思う

私は人生を
浅く生きて
いると思う

看護
1年

人に自分の過去を
知られることに抵抗があるので
その辺はどうなるのでしょうか？

先生に自分史を提出するというのならば
やはり多少は隠したい過去というものが
出てきてしまうと思います

自分の事は誰よりも自分自身が
分かっているように思えるが
実際そうでないことも多い

自分史を書く事は
自分を表す事
探求する事
吟味する事だと思っ
もしかして世の中で
一番怖いのは自分では
ないかと思う時がある。
そんな得体のしれない
私を知る、良いチャンスに
なるのではないかと思う
だから、この授業には
“自分とは何か”知るための
ヒントを期待している

後期の授業も必ず
私の役に立つ授業だと
期待している。祖父は
「自慢史」を作っていたが
私は「自分史」をつくりたい

“過去の中に未来がある”
という言葉が印象に残った。
私が求めていたことかも
しれないと思った

自分の過去を
見つめ直すことで
自分の未来に対して
考えを持ちたい

今日のように、自分では
分かっていない自分が
発見できたらいいと思う

今日のように
瞑想して欲しいです

看護3年

性格判断をして
同じ性格の傾向にある
人達だけで集まって
何かをするということは
楽しそうであるが
少し怖い気もする

私はよく自分について考える。
家族の中の自分、友人の中の自分
世界の中の自分、自分の中の自分。
気付くとそれを考えているのだが
未だに自分が分からない。ところで
**自分史は先生や他の人に
見せたりするということは
あるのですか？**

看護をしてきて、基本に
1対1のコミュニケーションがある。
しかしそれに加えて
大勢の人に自分のしたい事を
表現できる力も必要だと
痛感することが多くある。
実践的な授業を期待します

今までの自分のからから
脱出したいと考えている。
大学に入って半年経ったが
受身になっている自分に
気付いた。受身ではなく
積極的に吸収できるように
取り組んでいきたい

知的生産の技術1 20011001

この授業では
表現力はもちろんのこと
思考力と判断力を
身に付けていきたい

自分に良い変化が
起きていることを期待

夏休み明けの最初の授業で
とても良いスタートを切ることが
できました。特に「未来は過去の
中にある」という言葉に感動

今日の話聞いて
何か新しい
自分にとっての
テーマ・目標・
やりたい事を見
つけられるよう
努めようと感じた

高校の時、「自分とは何か」
というテーマで文章を書いた。
主に自分の内面について
書いたが、明確な答えを
見出すことができなかった。
この講義を通して、もう一度
自分史において自分を
見つめ直してみたい。そして
将来、特に職業についての
ヒントみたいなものを見
つけられると良いと思う

今からどう生きていかなを見つけるために
自分史を書くと言われ、ハッとした。
なんとなく生きている自分があるからだ。
この授業では「深く生きるためのモノ」を
見つけたい。その手助けとなる先生の
刺激的なコトバなどがあると嬉しい

計画
1年

前期もでしたが、この授業に出ることは
私にとって苦痛です。自分が無能に
感じられ、周りが有能に感じられ
考え方は卑屈になり自身が抜け落ち
疎外感や孤独感が増し、劣等感が
大きくなります。苦しいことは嫌ですが
毎回出てしまう予定でお願いします

今と未来の自分の
原点でもある
過去の自分と
向き合いたい

今日の先生の話からすると
自分史を書くことによって
過去を振り返り、それを見
つめ直して将来を考える
というのが、この授業の
目的ですね？図解の授業の
時のように色々な人の
意見を紹介して欲しい

自分史を書く上で、本などをもっと読み
たいので良い本を紹介して欲しい。
前期の授業を取っていなかったの
で前期で行った内容を交えて欲しい

自分には文章能力がないから
そこを身に付けたいと思う

これからの人生に目標を
見つけられるようにしたい

自分にとってプラスになり
変化をもたらしてくれる
ような授業にして欲しい

文章を書くのが
苦手だが
それを克服したい

自分はこれまで
理想とする考えを
ただぼんやりとしか
思うことができなかった

自分を高めることができ
人生の目標を見付けることが
できるような授業にして欲しい

自分史を書いて自分の生き方を見つけたとか
皆が皆良い結果を招いているように聞こえるが
本当にそうなのか疑問に思う。先生は未来は
過去の中にある、つまり過去にしてきたことの
結果として起こるとおっしゃいましたが、それは
どうなんだろうと思いました。未来はあくまで
未来であり、全く予期しないこともあるから
過去がどうこうではないのではと思えました

自分史を書くことに
興味がわいてきた。
思考力を啓発して
くれるようなお話も
時折してください

先生のおっしゃる通り
未来に向けての
作業になるのなら
是非、挑戦したいです

過去を見つめ直すことで
未来の自分が見えてくるのなら
積極的に自分の過去のネガにも
ポジにも光をあてていきたい。
自分が将来本当にやりたい事は
何なのかが、まだ見えません。
この授業を通して過去を見つめ
未来を見つけていきたい

表現技術の延長に
ならない授業を
お願いします

授業中、先生が
与えてくれたポイントと
自分の瞑想で
自分史を完成させたい

この授業では
自分のことを見つめ
知ることができる
のではないかと思います

自分が、どう分析
されていくのか
楽しみでもあり
恐くもある

自分について
考えるというのは
とても良い
テーマだと思った

今まで何回か自分史を書こう
と思ったことがありますが
書き上げることができません。
今回は是非、書き上げたい

性格分析を応用する
という考えはすごい

本当に自分史なんて
書けるのか

瞑想の時間というのは
今思うととても
意味のある時間だ
と感じます

「自己発見」

将来への指針を見つけていきたい

知的生産の技術1 20011001

目標が見つけれられるように
手助けして欲しいです

今日から新学期。夏休み
ホケのせい、今自分は
何をすればいいのかわ
分からなくなっています

もっと大きな変化や
今の自分のあやふやな
部分が見えてきて
大学生活が
変わるかなと期待

この授業に期待すること
・事業に成功した人の話を聞きたい
・自分の歴史をまとめる時、どう考
えるべきか知りたい
・自分の考えることと社会の進む状
態が反対になる場合、どうすれば
いいか知りたい

大学選びまでは
限られた選択肢の
中から選ぶだけ
だったから、何とか
やってこれたが
職業選びとなると
そうはいかない

書くネタを引き出すような
方法を教えて欲しい

瞑想は緊張します。
しんとするので
お腹も減っているの

自分を振り返る
「温故知新」という
言葉が好きで自分
としては、中身のある
自分史を書きたい。
あとゲストとしては
ご多忙かとは思
いますが
寺島実郎さんに
来て頂きたいです

瞑想は意外に必要な時間だ

自分史についての話を聞き
今の自分を脱出する出口や
目標が発見できるのではないか。
自分に自信が持てるよう
になるのではないかという
気持ちで一杯になり、涙が
出てきそうになりました。後期
最初に受けた授業がこれで
本当に良かったなと思います。
この授業に期待することは
自分の発見と自分の未来と
自分の自信の発見です

今日の先生のお話を聞いてみて
自分史がこれからの
自分へとつながって
いくものだと知り
とても驚いた。
この授業で自分史を
書くことによって
より真剣に自分と
向き合っていくと
思った

中身の深い授業で
あることを期待する。
ただ、うわべだけの
自分史を作成して
終わるのは、絶対に
嫌である。今後の
自分に必ずプラスに
なるような授業を望む

始め、この授業を今とるべきかすごく悩みました。
在学中には絶対とろうと決めていましたが
もう少し自分の中で色々な考えをためてからに
した方が、得るものが大きくなるのではと思った
からです。しかし早めに自分に向き合うことで
今後の大学生活にいい影響があるかもしれない
という気持ちになり、受けてみよう決めました

将来に生かして
いきたいと思うような
授業の展開に期待

計画
1年

この授業では
自分の問題点を
発見してみたい

情報表現論以上に
面白い授業を期待

授業が全て終了した時
新しい自分が誕生して
いるだろうと想像すると
とても楽しみです

自分史をどこから
書いていいのかわ
どの程度の所まで
書くのかをきちんと
示してもらいたい

自己表現能力を
豊かにして
いけたらいい

改めて、過去を
見つめ直す
必要性は感じた

数日前、誕生日を迎えて
19歳になりました。そこで
その日から日記をつけよう
と決めました。この講義は
今の自分にとってピッタリだ
と思いました。今後の為に
自分史を書くというのは
なるほどと思いました

自分の目標を
立てられるような
授業にして欲しい

5分間、長くはなかった

自分史を書くための
材料を提供して
もらえれば嬉しく思う

将来就職するにあたり、自分が何を
したいか、深く見つめ直したい。
グループに分かれて作業する
そうですが、普段出会えない人達と
知り合いになれそうなので楽しみ

自分の考えを
改めて
知れるような
授業を期待

自分史を書くことは
自己認識にとつ
ても大事であると
先生が教えて下さり
長い間の思惑が解けた

この授業では、あまり
文章力のない私でも
上手く書けるように
してもらいたい

なりたい職業を見つけ
それを目指して
今から準備をしたい

計画
2年

知的生産の技術1 20011001

自分史を書く自分何かに変化が表れるということは何回か耳にした。本当にそうだったら面白いと思う。そうなれるような授業を期待

自分の理解 企画 伝達力が発達することを期待

自分史を書くことによって何かに気が付けること。自分を見つめる時間があること。楽しく授業を受けたい

この授業が終わる頃にはもう少し自分を分かってほしい

恐いような楽しみなような。そんな期待がこの授業にはあります。ぼやけていたものをはっきりしたものに変えられるような経験を期待

自分の事をより深く新しい発見もありつつ理解できたらいい

自分史を書くことで「自分の進むべき方向を見つけていく」というのは、現在私が最もやりたいと感じている事の一つである。3年になりキャリア開発のセミナーに参加し自己分析をしているが中途半端な段階で「今後何をしたいか」という具体的なビジョンが立っていない。考えるのを避けてしまっている。就職活動を目前に控え「自分とは何者か」というのが切実なテーマになっている。この時期に履修して良かったと思う

就職活動の自己分析の一環として、この授業を選択しました。どうやら今日の先生の授業を聴いていると就職活動という狭い範囲でなく人生という広い範囲に影響を与えるような素晴らしい時間を持つことができそうです

今までの自分を逃げずに見つめられるきっかけになればなあと思う

自分が何をやりたいのか、どういう職業が向いているのかを真剣に考えなければならない時期なので、この講義でやる事は大変役に立つと思う

計画3年

計画4年

大学に入学し自分のことが見えなくなっているのに気付いた。今そのような自分に非常に危機感を覚えている。自分を振り返る時間を確保しこの講座終了後の自分はどんな状態になっているかに期待

今とてもダラダラと大学生活を送っているので少しでも自分が変わればいい

デザイン情報1年

自分をつかむきっかけとなればと思う

授業を受けて何がかわるか面白そう

後期から受けても大丈夫な授業をして欲しい。自分の中で変化が起きることを期待

不安ではあるが自分の内面をしっかりと認識したい。そのためのチャンス。きっかけを提示してもらえることを期待

今日の先生の発言が正しければいいと思う

ヒントをたくさん出して欲しい

自分のことを逃げずに考えて充実感を味わいたい

この授業では自分史を作っていくみたいだができれば最終的に図解してみたい。是非図解の方も教えてもらえればと思う

図解やプレゼンの能力は自分自身向上したと思っています。しかし知的生産を入れた3つを受講してはじめて、大きな力がつくのではないかと感じています

この講座で、上手に文章を書く技術を学ぶとともに、その根本となる情熱を取り戻したい

先生の講義は触発されることが非常に多い。野田先生がいらっしゃらなくなった今久恒先生の講義は大変貴重である。若者を触発するような若者に「自分も頑張らなきゃ」と思わせる、そんな講義を期待。ゲストに野田先生が来て下さったら嬉しいです

デザイン情報2年

今回は全てを「見る」様に自分史を書いた後、自分の前に進む力が向上していれば良いと思う

自分史を書いた後の自分がどうなっているかを期待

20年間生きてきた区切りとして、言葉で自分のこれまでの事を書き出すことは、楽しみよりも不安の方が大きい

科目履修生

今よりもステップアップした自分になれたら良いと思う

1969年に出版された「知的生産の技術」を早く読んでいけばと悔やんでも遅いですからこの授業を休まず受けて、技術を身に付けたい。期待することは、生の久恒先生とできるだけ会話(直接、メールなど)をしたいということです

見失いかけている目標を再認識または新たな目標を見つけそれに自信が持てるようになりたい

自分の性格を知り欠点を直したい